

日野第四中学校『「対話が豊かな人間性を想像する」学校』プロジェクト

（第4次日野市学校教育基本構想 「学びの変革」プロジェクト）

ねらい 総合的な学習の時間において、生徒が自ら課題を設定し、探求的な学習過程の中で課題解決を目指す取組を通して、**生きて働く学力の習得や、豊かな人間性を育むことを目指す。**

構想と計画の概要

【総合的な学習の時間】

テーマ 1 学年：福祉
2 学年：職業
3 学年：国際理解

4～5月

基本的な知識・技能の習得

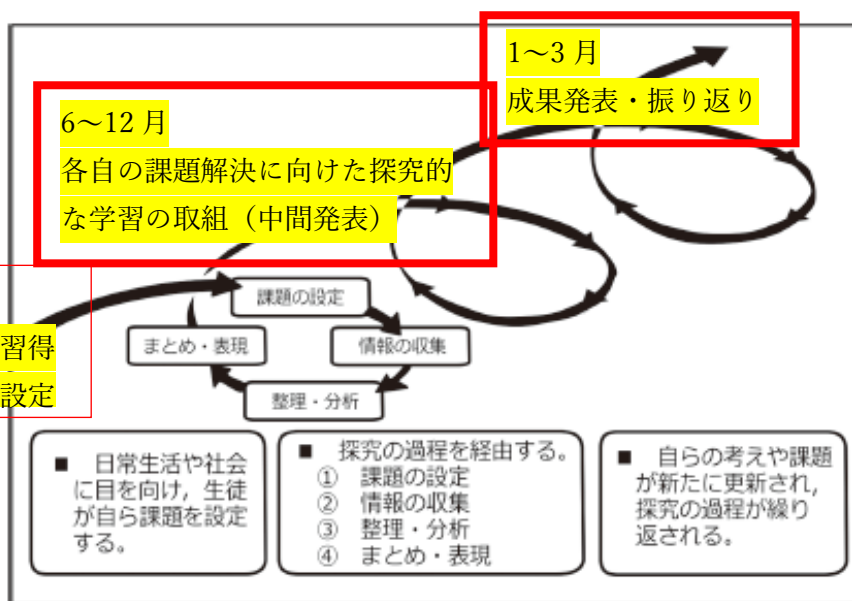
→課題発見・課題設定

6～12月

各自の課題解決に向けた探究的な学習の取組（中間発表）

1～3月

成果発表・振り返り



★特色ある教育活動

- ・地域の事業所等との連携
- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ・外部講師の招聘による授業改善（年6回予定）
- ・協働学習に必要な学習環境の整備（備品、消耗品の新規購入、教室配置の工夫）

出典：文部科学省「学習指導要領解説（総合的な学習の時間）」

【各教科での学習活動との関連】（カリキュラムマネジメントの視点）

R6の校内研修の成果を生かし、教科横断的な視点から生徒が各教科の特性に応じて4つの探究の過程の学習スキルを繰り返し習得する機会を意図的・計画的に設定する。（①～④は上図の各探究スキル）

例 技術：①各自で課題を設定する活動（プログラミング）

保体：②タイム等のデータの収集や学習者用端末を活用した動画データの記録

数学：③統計やグラフの学習場面で情報の整理や分析をする活動

国語：④自分の考えをまとめたり表現したりする活動

期待する生徒の姿、学校の姿

個別最適な学習

自分の興味関心に応じた
学習者主体の学び

将来にわたって
学び続ける力

協働的な学び

多様な他者との学びやコミュニケーション
ICTリテラシーの向上

生きて働く学力

・多様性の理解、豊かな人間性

生徒・家庭・地域とともにつくる学校

生徒一人ひとりに応じた支援（一律一斉の指導からの脱却）
学習を生徒に委ねる、伴走者としての指導観の転換

多様性の理解

地域とのつながり

地域とともに学ぶ活動
地域や社会の課題解決学習

地域貢献の意識
キャリア教育